



# 栄小学校だより

令和4年2月18日(金) No.37

## 〇みえスタディチェック

2月16日(水),5年生が「みえスタディチェック」を実施しました。(国語・算数・理科)  
今回のみえスタディチェックから,1人1台学習端末が整備された環境を生かして大部分をCBT(※)化して実施しました。(一部紙媒体での書き込みあり)  
コンピュータを利用して解答でしたので戸惑いもあったと思いますが,しっかりと取り組めたと思います。私としては,「学校のテスト」が一步未来へ進んだ,時代の流れを感じました。

※CBT(Computer Based Testing):問題を学習端末に提供して児童が画面上で解答する調査方法  
内容については,今までの復習的な問題ばかりですが,簡単な問題から難しい問題まで……,いろいろあったと思います。この調査を受けて苦手なところを理解し,しっかりと時間をかけて克服してほしいとです。

6年生になった,4月19日(火)には,令和4年度全国学力・学習状況調査が予定されています。



## 〇すずか夢工房-達人に学ぶ-(3年・4年)

2月16日(水)に3年生・4年生が体育館にて「すずか夢工房-達人に学ぶ- よさこい踊り」講座に参加しました。講師の先生は,すずかフェスティバル実行委員会・よさこいチーム「勝山組」の山野勝久先生です。

ウォーミングアップの後,簡単な振り付けや基本のポーズのレッスンをし,本物の衣装等をまとい演技をしました。南中ソーランについて,その振り付けはニシン漁の姿がもとにあるという文化背景を教えてくださいました。踊りの時は,その情景を浮かべることでより意図が明確なダンスになることを教わりました。身体全体を表現に使う踊りですので,簡単にはできないようですが参加者であわせると,なかなかの迫力を感じました。

山野先生やお世話になったボランティアスタッフのみなさん,丁寧で楽しいご指導,ありがとうございました。

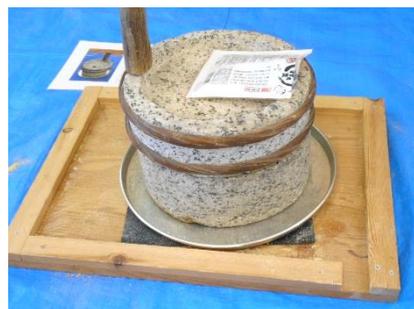


## ○昔の道具教室（3年）

2月17日（木）に3年生が「昔の道具教室」に参加しました。講師の先生は、三重県地球温暖化防止活動推進センターの落合先生・吉田先生・米川先生の3名の方々です。

今の暮らしと昔の暮らしを比較して便利さに気づき、それらを便利にする機械や道具を動かす限りあるエネルギーを有効に使って、未来へつなぐ必要性を教えてくださいました。

みなさんも自分たちが大人になった将来を考え、SDGs（持続可能な開発目標）を実現していきましょう。



## ☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.15

### ○無気力な子の親に多い「やる気を奪う」声かけ

親に必要なのは「適切な声かけ」と「見守る姿勢」……その1

「勉強しなさい！」「ゲームばかりじゃダメでしょ！」など普段から各ご家庭では子どもさんと押し問答がなされているのではないのでしょうか？ そして、親子のバトル勃発。

メンタルコーチングプロの鈴木颯人氏の著書、『脳科学×心理学 うちの子のやる気スイッチを押す方法、教えてください！』によると有効な声かけは……。

### 最悪の未来を想像させよう

「このまま勉強しなかったら、どうなると思う？」

さらに「最悪の未来」を想像させます。

「このまま勉強しないで、学年ビリをとったら、どんな気持ちになると思う？」

これ以上は何も言いません。子どもが自発的に考え、動くのを待つのです。親はどうしても子どもをコントロールしがります。でも、子どもは親とは別人格ですから、親の思いどおりにはなりません。できるだけ見守る姿勢を保つようにしてください。

人間の行動原理に「痛みと快樂の法則」というものがあります。人間は本能的に痛みを避けるため、あるいは快樂を得るために行動を起こします。

なお、ここでのポイントは、必ず「質問形」にすること。親御さんによっては「～しなさい」と言い切ってしまう方も多いですが、反発を招きやすいです。

「このままゲームばかりしてたらどうなるかな？」

「学年ビリの成績をとってしまったらどう思う？」

といった問いかけで、子どもの自発的な行動を待ちましょう。